

## 地方創生加速化交付金充当事業（清須学推進事業）の効果検証について

## 1 本事業の概要

地方創生加速化交付金とは、地域のしごとの創生に重点を置きつつ、一億総活躍社会の実現に向けた緊急対策にも資する先駆的な事業に対して、国が交付する交付金（補助率：10/10）。

目的	● 本市のまち・ひと・しごと創生に向けて、まずは、本市が有する地域資源を最大限に活用するとともに、シビックプライド（地域に誇りと愛着を持ち、当事者として考え行動する住民意識）の醸成と、その牽引役となる人材の育成や活躍を促進することにより、地域全体の活力を高め、交流人口の拡大、ひいては、定住人口の増加を目指す。
概要	[①会議の設置・運営] 事業推進のあり方等について、関係者からの意見聴取・合意形成を図るため、清須学推進会議（以下「会議」という。）を開催。 [②シンポジウムの開催] 事業初年度として、機運醸成を図るため、シンポジウム（基調講演・パネルディスカッション）を開催。 [③講座の開講] シビックプライドの醸成とその牽引役となる人材（観光や教育等の分野での幅広い活躍を期待）の育成を目的として、本市の歴史や文化を体系的に理解できる「清須学講座」を開講。 [④清須検定の実施] 清須学講座修了者の自発的・継続的な地域の活力向上と魅力発信のための活動を促すため、「マイスター」として認定する仕組みを構築。
将来像	○ マイスターの活動や地域一体のにぎわい創出による観光誘客の促進。 ○ シニア世代の社会参加の枠組みづくりを進めることによって、シニア世代の生きがいと健康づくりの促進。 ○ 学校でのシビックプライドの醸成を図ることによって、若い世代の将来的な定住化・Uターンの促進。

## 2 実績（平成 28 年度）

① 会議の設置・運営	<p>● 会議を年 4 回開催し、事業の基本的方向性や制度設計に関する意見聴取を行ったほか、マイスター認定に係る審議を行った。</p> <p>第 1 回（8/9）：基本的方向性 第 2 回（8/26）：基本的方向性 第 3 回（11/16）：マイスター制度の検討 第 4 回（3/27）：マイスター認定/平成 29 年度の方針 ⇒ マイスター認定者 24 名の内訳：検定合格者（9 名）＋委員からの推薦者※（15 名） ※ マイスター推薦基準：今日まで 3 年以上継続的にシビックプライドの醸成に資する活動への参加者</p>	<p>[委員構成] (順不同・敬称略)</p> <p>会長：箕浦 信夫（山車保存会会長） / 副会長：石田 隆（市観光協会事務局長） 山田功（中日信用金庫理事長）、加藤富久（郷土史家）、山本武司（キリンビール総務広報）、原田幹（愛知県教育委員会学芸員）、横井敏雄（ガイドボランティア会長）、加藤暉夫（ガイドボランティア副会長）、田中孝則（ガイドボランティア班長）、奥田雅朗（市商工会事務局長）</p>
② シンポジウムの開催	<p>● シビックプライド及び講座の受講機運を醸成するために開催。当日（9/17）は 500 名が来場した。[ 於：春日公民館大ホール(600 席) ]</p> <p>[第 1 部] 基調講演（60 分）テーマ：「物語としての清須城」 小和田 哲男 氏（静岡大学名誉教授）</p> <p>[第 2 部] パネルディスカッション（60 分）テーマ：「郷土の歴史と地域の誇り」 コーディネーター：内田 俊宏 氏（中京大学客員教授） / アドバイザー：小和田 哲男 氏（静岡大学名誉教授） パネリスト：山田 功 氏（中日信用金庫理事長） / 加藤 富久 氏（郷土史家） / 原田 幹 氏（愛知県教育委員会学芸員）</p>	 
③ 講座の開講	<p>● 本市の代表的な地域資源について全 6 回の講座を開催し、受講者の約 9 割（87%）が修了した。受講者：95 名（申込者：100 名）修了者：83 名（修了基準：6 講座中 3 講座以上の出席者）</p> <p>[第 1 講] 12/13 「清須の歴史の魅力」小和田 哲男 氏 (88) [第 4 講] 1/28 「美濃路」加藤 富久 氏・毛利 孝一 氏 (74) [第 2 講] 12/17 「朝日遺跡」原田 幹 氏 (76) [第 5 講] 2/4 「フィールドワーク（清洲城界隈）」ガイドボランティアの会 (59) [第 3 講] 1/14 「清須城・城下町」鈴木 正貴 氏 (69) [第 6 講] 2/25 「現代」山本 武司 氏 (53) ※（ ）の数字は出席者数</p>	
④ 清須検定の実施	<p>● 講座修了者を対象に実施し、34 名中 9 名が合格した。</p> <p>検定実施日：3/4 受験者数：34 名（出願者 35 名） 平均点：71.5 点 合格基準点（80 点）以上：9 名 ※ マイスター認定は会議に諮った上で、正式に決定。</p>	<p>[清須マイスター認定徽章のデザイン]</p>  <p>・清須のイニシアル「K」をモチーフに、3 つの川（庄内川・新川・五条川）を表現 ・大手橋（清洲城）、パレススタイル土器（朝日遺跡）、尾張西枇杷島まつり山車の大幕（美濃路）を連想させる朱色により、清須市の 3 つの代表的地域資源を象徴</p>

3 効果検証 [ KPI 検証 ]

「地方創生加速化交付金実施計画」に記載した重要業績評価指標 (KPI※)	基準値	平成 28 年度実績	目標値(※)		(ア) の達成状況
			(ア) 交付金実施計画	(イ) 総合戦略	
① マイスター認定者数	—	24 人	10 人	40 人	達成：目標値を 14 人上回った。 (検定：9 人/推薦：15 人)
② 清洲城及び愛知県清洲貝殻山貝塚資料館の延べ入場者数	85,204 人	87,360 人	90,000 人	120,000 人	未達成：目標値に 2,640 人届かなかった。 (清洲城：78,273 人/資料館：9,087 人)

※ (ア)は平成 28 年度末時点、(イ)は平成 31 年度末時点の目標値

(1) 要因分析・事業成果の総括

① マイスター認定者数

KPI を達成できた主な要因は、次の 2 点に整理できる。

要 因 1	<b>事業初年度としての機運醸成</b> ⇒ 高名な有識者や本事業の関係者を招いて、基調講演やパネルディスカッションによるシンポジウムを開催したことで、本事業の目的や内容に関する注目度を着実に向上させることができた。このことを通じて、清須学講座の受講者募集に直接的な効果を発揮しただけでなく、清須検定への挑戦意欲を持った受講者を多く獲得することができた。
要 因 2	<b>会議での有意義な意見聴取及び合意形成</b> ⇒ 会議を通じて関係者から様々な意見聴取を行い、合意形成を図った。このことを通じて、受講者ニーズを的確に把握した事業基盤を整備することができたこと。 [事業基盤] 講座のコンセプト・構成・講師陣、テキスト作製、マイスター認定制度、清須検定のコンセプト・問題集等

② 清洲城及び愛知県清洲貝殻山貝塚資料館の延べ入場者数

施設名	実績			主な要因等
	(a) 平成 27 年(1 月～12 月) [基準値]	(b) 平成 28 年度	(b-a) 比較	
(i) 清洲城	80,184 人	78,273 人	▲1,911 人 (▲2.3%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>清洲城は、日吉神社の初詣客や大河ドラマ・映画での話題喚起等、様々な要因が影響して、入場者の増加につながる傾向が強い。平成 28 年度は、この数年続いていたそうした影響を受けられなかった。</li> <li>市として、平成 28 年度に入場者向けゲームアプリ「SHIROPO (シロポ)」(※) の供用を開始し、話題喚起や滞在時間を伸ばす取り組みとして活用したが、武将観光の斜陽化等も影響したため、目標値を達成できなかった。 ※ iPhone 専用のゲームアプリで、清洲城とその周辺を宝探し感覚で遊べる無料ゲーム。ゲーム達成者には記念品を進呈</li> </ul>
(ii) 愛知県清洲貝殻山貝塚資料館	5,020 人	9,087 人	+4,067 人 (+81.0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋市交通局と名古屋鉄道によるウォーキングイベントでコース設定された。(1,500 人増)</li> <li>例年秋頃に開催している弥生生活体験イベントが集客的に成功し(1,200 人増)、一般客の底上げにも寄与。</li> <li>校外活動に利用する学校が増加した。(平成 27 年度：14 校 ⇒ 平成 28 年度：17 校：300 人増)</li> </ul>
(i)+(ii)	85,204 人	87,360 人	+2,156 人 (+2.5%)	[目標値]90,000 人 目標値達成には、基準値となる平成 27 年(1 月～12 月)実績との比較で 5,000 人(+5.6%)増が必要。

【総括】講座の開講、マイスター制度(清須検定の実施等)の構築及び会議の設置等により、シビックプライドの醸成やその牽引役の育成のための事業基盤を整備することができた。

一方、本事業の効果を清洲城や貝塚資料館等の集客力の向上へつなげていくための取り組み(マイスター人材の活用方法や施設間連携の強化等)については、今後の課題。

(2) 今後の事業方針

平成 29 年度以降においては、初年度に整備した事業基盤を活用しつつ、講座開催のあり方等を一部更新しながら事業を継続する。

⇒ 具体的には「食」「自然」「防災」といった「歴史」以外の切り口でも講座を開催することで、より多面的に清須を理解することができるよう内容の充実を図る。

	平成 28 年度 [6 講座]		平成 29 年度 [8 講座]	
座学	歴史系	①清須の歴史の魅力(導入講座として)、②朝日遺跡、③清須城、④美濃路	歴史系	①朝日遺跡、②清須城、③美濃路(「青物問屋と西枇杷島まつり」に特化)
	その他	⑤現代(産業：キリンビール工場)	その他	④現代(産業)、⑤防災(災害時の避難)、⑥食(宮重大根)、⑦自然(庄内川の鮎)
フィールド	⑥清須城界限		⑧西枇杷島町問屋町～西六軒界限(山車蔵の見学を含む)	